

# 3種類のChin-Downの結果の比較 若年健常者を対象に

	通常頸位との比較		
	頭部屈曲位	頸部屈曲位	複合屈曲位
軟口蓋部の最大内圧	N.S	N.S	N.S
中下咽頭部の最大内圧	N.S	N.S	N.S
UES部の最大内圧	N.S	↓	↓
UES部の 平圧化持続時間	↓	↑	N.S

3種類のChin-DownはUES部の嚥下圧動態に異なる影響を及ぼす。



3種類のChin-Downで得られる効果が異なるため、Okadaらが提案している通り、  
これらを区別して嚥下障害者に用いる必要がある。